

「住んでよかった」と思える **みよし市** を目指します！

わたなべいくお

くらしの相談

担当者レポート No.31



発行日：令和5年1月31日

発行所：トヨタ自動車労働組合

発行人：鬼頭 圭介

編集者：渡邊 郁夫

印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

わたなべいくお の主な取組み

くらしの相談対応事例

ここがポイント

安全・安心な道路整備を行いました



(要望) トヨタ自動車下山工場西通用門従業員駐車場に乗り入れする里道で雑草が道路にはみ出し避けるためすれ違い時危険。除草をして欲しい。

(回答) 里道は地元土地改良区が管理しています。今回打越土地改良区で除草作業を行っていただきました。

要望場所



対応前



雑草を避けるため、車両すれ違い時危険。

対応後



池のり面から道路部除草を実施

ここがポイント

安全安心な通学路整備をしました



(要望) 市道47号線筋生打越線(旧ノリタケアウトレットショップ付近)で朝晩の通勤時間帯において天王学校等への通学時間と重なりで横断歩道しかなく多くの児童生徒の横断時危険。信号機を設置して欲しい。

(回答) 当該場所は信号機の設定が難しい場所ですが多くの児童生徒が通学しており、地元行政区小学校からも要望提出していただき信号機に代わる歩行者横断点滅機・カラー舗装を設置しました。

要望場所



対応前



坂部であり横断歩道のみでは危険

対応後



歩行者横断点滅機を設置



議案72号 令和4年度一般会計補正予算（第10号）

コロナ禍の物価高騰の影響を受けた市民に対する支援及び落ち込んだ消費意欲の向上と地域経済の活性化を図るとともに、省エネ性能の高い省エネ家電や家庭用LED照明器具に更新することにより得られる、エネルギーの物価高騰に伴い上昇する家庭での電気代の削減及び環境負荷低減効果により、ゼロカーボンに対する市民の意識の高揚を目的として、省エネ家電等への更新費用の一部を補助する議案等が可決承認されました。

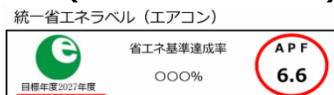
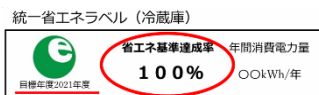
1. 省エネ家電更新費補助事業 申請期間 令和4年12月下旬～令和5年3月31日まで

(1) 家庭における消費電力量の内訳

家庭における消費電力量の内訳は、エアコン14.7%、
冷蔵庫14.3%、照明13.5%の順で上位を占める割合となっています。

そのため、本補助金はその上位3種を補助対象とし、効果的に省エネを促進します

(2) 対象機器 市内事業所から購入するエアコン・冷蔵庫で購入費、設置費等の総額が税込み100,000円以上のもので、市内の住宅にある既存のエアコン・冷蔵庫から買換えを行うもの ・エアコン…統一省エネラベルに記載のAPF(通年エネルギー消費効率)が 冷房能力ごとに定める省エネ基準以上のもの(目標年度2027年度)



省エネ基準(目標年度2027年度)

冷房能力	2.2kW～4.0kW	4.5kW	5.0kW	5.6kW	
APF	6.6	6.5	6.4	6.3	
冷房能力	6.3kW	7.1kW	8.0kW	9.0kW	10.0kW
APF	6.1	5.9	5.7	5.5	5.3

・冷蔵庫…統一省エネラベルに記載の省エネ基準達成率が100%以上のもの(目標年度2021年度)

(3) 補助金額 それぞれ定額50,000円/台・世帯

2. 家庭用LED照明器具更新費補助金

(1) 対象機器

市内事業所から購入する家庭用LED照明器具で購入及び設置費の総額が税込み15,000円以上のもので、かつ市内の住宅にある蛍光灯、白熱灯等をLED照明に買換えを行うもの

(2) 補助金額 定額10,000円/件・世帯



3. 太陽熱利用システム設置費補助事業

(1) 太陽熱利用システムの概要

太陽の熱を使用して温水や温風をつくり、給湯や暖房などに利用するシステムのこと。

太陽熱利用システムは、「自然循環型」と「強制循環型」に分別されます。

(2) 補助金額 太陽熱利用システム設置費の10%

自然循環型…上限額 50,000円

強制循環型…上限額 100,000円



× My City Report の運用を開始していますので、登録を！

My City Report は、スマートフォンのアプリを使って「道路が傷んでいる」、「公園の遊具が壊れている」「ごみが不法投棄されている」など、みよし市内で起きている様々な課題を、市民レポーターの皆さんの投稿により効率的に解決するシステムです。

市民レポーターとして登録した市民のみなさまの投稿により

- ・迅速な補修対応が可能となり、市民の皆さんの安全性の向上が図られます。
- ・市の対応状況が可視化され、透明性の向上が図られます。
- ・市民と行政との間や市民同士で、地域の課題を共有することができます。

*是非、市民レポーターとして登録して頂き、協働のまちづくり推進をお願いします。

アプリ(My City Report)はこちら

